

第160回: 抜釘記

客歳極月、右手関節部を粉碎骨折してから早や三月、難しそうな顔をしてレントゲン写真を凝視していたお医者さまが「4月1日にバツテイします」と宣ふた。なに～バテイ？ 馬丁？ Buddy？ 末弟？ 博覧強記と詐称する余の辞書にも載ってない単語のようだ。訊けば「抜釘」と書くそう。

いよいよ右手首に埋め込んだ「針」を抜く時期がきたようだ。先生が部分麻酔で抜釘するとおっしゃるので、てっきり診察室で椅子に腰かけたままで麻酔して軽く切開、そしてピンセットかなにかでヒョイと針を3本抜くというイメージを自分なりに描いて4月1日に出頭したのだが、あにはからんや、かのベン・ケーシーが執刀するような大手術室に運び込まれ、体中に心電図や血圧計、血栓症防止云々やらを貼り付けられ、まるで心臓移植でも受けるような大椿事となった。手術中は怖くて患部を覗き込む勇氣はなかったが、先生たちが力を込め、ごりごり音をたてながら、何かを引っこ抜こうとしているのだけはよく分かった。抜く瞬間に激痛に近い痛みが走ったものの、国手の熟練の技のおかげで手術は無事終了した。患部を縫合したあと、筆者を長いあいだ苦しめてきた問題の針を見てぎょっとした。2本の針が各6センチ、もう1本は15センチ、太さは事務用ボールペンの替芯くらい。これは針ではなく、間違いなく釘である。先生の云われた「抜釘」の意味が術後になってやっと理解できた。おかげさまで腕の状況は格段に改善し、いまこの駄文はモンブラン149を使って書いている。(もっとも美人秘書がないので、自分でPCに打ち直す必要があるのだが…)

長いこと中国で暮らした経験から判断すれば、近代国家に変貌しつつある中国だが医療水準では日本の足元にも及ばないだろう。むかしの駐在員の任務には人助けも含まれており、不純異性交遊で補導された日本人を警察から引き取りに行ったこともあるし、日本の虎の門病院や三井記念病院に相当する華東病院や瑞金病院で友人知人の入院や手術に立ち会ったこともある。商学部の出身ゆゑ、ハード面の医療設備を評価する能力はないが、院内の清潔さ、手術前に何度も手順を確認する緻密さ、患者をリラックスさせようとするスタッフの気配り等において日中の病院の、特にソフト面の技量には天と地との開きがあると断言できる。もし筆者が上海で粉碎骨折し、地元の病院に搬送されたら、何らかの後遺症が残り、自慢の300ヤードショットはこれにてお仕舞いだっただろう。ところで筆者の受けた手術は中国語でも「抜釘手術」と云うようだ。グーグルで検索すると「股骨骨折抜釘手術後走路膝蓋痛の問題」といったスレが並んでおり、レ点や返り点を打たなくても意味は分かる。

釘と云えば中国にはこんな諺がある。「好鉄不当釘、好男不当兵」。これもレ点は不要、中国で釘にするのは屑鉄、兵隊になるのは人間のクズと云う意味だ。これ筆者の発言ではなく、中国の人口に膾炙している格言である。日本は隋や唐の影響を受けた奈良時代や平安時代が終わると、幕府と云う軍事政権の時代が長く続き、そんな関係もあって日本人に「文>武」と云う意識はあまり強くない。ところが中国や、その属国時代が長かった朝鮮は違う。文武の比較において、「文」は「武」よりも遙かに地位が高い。皇帝の諡で文帝と武帝では前者の格が高く、漢でも唐でも文宗の後に武宗が登場する序列である。文人優遇は立派な統治システムだが、武人を蔑視してきたツケが回り、中国も朝鮮も過去戦争して勝った経験は殆どない。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

尖閣問題で日本に対し強硬姿勢で臨んでいる中国だが、中国の軍事能力は百年経っても米国や日本を凌駕できないだろう。先ずハード面の水準が全く違う。ソ連やロシアの「モンキーモデル」の戦闘機が10機や20機束になっても一機の米軍F22ステルス戦闘機に勝てないし、空母「遼寧」に至っては論評にも値しない。あれは単なる船か舟だ。

それだけではない。中国の軍事大国化を阻む最大の問題点は、中国社会における軍隊、軍人の地位があまりに低いことだ。中国の若者の大半は国防大学へ入学するくらいなら三流大学を選ぶ。これでは軍人の士気が上がらないのは当然だ。中国のスーパーやデパートで時々見かける「軍人優先」というスローガンは、軍人蔑視の裏返しと見ることができる。筆者の説が信用できなければ、天安門広場や中南海新華門に立つ衛兵を見てくれればよい。中国最良の筆者ゆゑ露骨な表現は控えるが、バッキンガム宮殿や臺灣總統府を護衛する長身白皙、聡明剛毅の偉丈夫とは正反対の兵卒ばかり、これ一目瞭然である。

尖閣諸島問題に戻ると、中国では戦争も辞さないと勇ましい論調が続いているが、武力に訴えてもアヘン戦争の恥辱を雪ごうと口から泡を吹いているのは、立場上主張する義務がある共産党と將軍たちを除けば、若いネット市民たちである。18世紀までは世界GDPの3割を占める圧倒的な超大国だった中国が、アヘン戦争を契機に欧米や日本の侵略を受けるようになり、その結果戦争と貧困のどん底に突き落とされた中華民族は大きなトラウマを負うことになった。近現代史が屈辱の連続であったが故に領海・領土・歴史認識といった問題が「核心的利益」として歪な愛国主義を生みだしたロジックは理解できるのだが、とまれ中国の若者たちは勇ましい。「俺たちは強いぞ、負けないぞ。むかしむかし中国の縄張りだったこともある尖閣諸島を返せ、ついでに沖縄も戻せ」と吠えているが、いざ鎌倉の際、最前線で日米同盟軍のF22やP3Cを邀撃する「俺たち」には、自分自身を含めていないのだ。「俺は戦わんが、中国の兵隊は強いぞ～」と云われてもねえ。本人だけでなく親の問題もある。いま中国で大半の若者は一人っ子である。子供が親に「戦争に行きます」と云えば、映画プライベート・ライアンのようなリスクに直面した父母が息子の従軍を許すわけがない。一族郎党のカネとコネを総動員して息子の出征を阻むだろう。これではホントの総動員が発令できない。

吾が自衛隊の隊員数は中国の一角にも満たないが、その対象国は自衛隊の運用能力を見くびらない方が賢明だ。東北大地震の救助活動に自衛隊が出動したとき、寸秒を争う救出活動において、彼らは被災地で自分たちの費消したものは大小便に至るまで全て持ち帰ったという。某国の軍事委員会が聞いたら腰を抜かすだろう。軍隊の統率や戦闘能力はこんなところからも推察できるのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成25年4月4日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本^の常識は中国^の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。